

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 5-2-1	事務事業名 高齢者生きがい推進事業	所管部課 福祉部 高齢者支援課
----------------	----------------------	-----------------------

施策コード 笑2-2	施策名 高齢者の生きがいづくりの充実	施策目標 高齢者が地域のなかで生きがいをもって人生をおくることができるまちをめざします。
---------------	-----------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的 高齢期の生活を健全で明るく豊かなものにし、高齢者福祉の増進を図る。	根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 高齢者の知識及び経験を活かし、生きがいと健康づくり及び介護予防、健康の増進、教養の向上並びにレクリエーションのための多様な社会活動や各種講座等への参加を通じ、高齢期の生活を健全で明るく豊かなものにするるとともに、いきいきとした高齢社会の実現を目指す。 (平成20年度から社会福祉協議会に委託) 03) 民生費 01) 社会福祉費 03) 老人福祉費 23) 高齢者生きがい推進事業費 13) 委託料 01) 高齢者生きがい推進事業管理委託料、ほか	
	事業開始時期 合併前 年度 実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		39,620	41,217	42,534	45,481
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		14,812	15,673	16,195	17,629
地方債	千円	0	0	0	0
その他(地域福祉基金繰入金)		1,000	0	2,000	3,000
一般財源		23,808	25,544	24,339	24,852
所要人員(B)	人	0.26	0.26	0.15	0.15
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,101	2,123	1,155	1,235
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	41,721	43,340	43,689	46,716
単位当たりコスト (E)=(D)/(開講回数(福祉会館各種教室等))	千円	33	34	33	0

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
①開講回数(福祉会館各種教室等)	実績値 回	1,264	1,278	1,324	
②開講回数(高齢者大学等)	実績値 回	33	34	35	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 福祉会館等で行っている各種講座・教室の開催回数を示す。年々講座等への参加希望者が増えてきているため、できるだけ要望に応えるように講座・教室数を増やしている。					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 参加者数(福祉会館各種教室等)	目標値 人				
	実績値 人	33,238	38,198	42,090	
二 参加者数(高齢者大学等)	目標値 人				
	実績値 人	2,573	2,889	2,574	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 福祉会館等で行っている各種講座・教室の年間延べ参加人数を示す。参加人数が年々増加傾向になってきており、これは講座・教室数の拡充と市民の関心度、参加意欲が高くなってきたものと思われる。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	各講座で定数を設定しているが、希望の多い講座について、定数増・機会増の要望が多い。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	講座・教室の内容に多少の違いはあるが、各市で同様の講座を開講している。(25市中3市が本人負担あり)
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	公民館事業との類似はあるが、対象が高齢者に絞られることから保健福祉計画の重点施策である介護予防事業の展開ができる。

事業コード 5-2-1	事務事業名 高齢者生きがい推進事業	所管部課 福祉部 高齢者支援課
----------------	-------------------	--------------------

施策コード 笑2-2	施策名 高齢者の生きがいづくりの充実	施策目標 高齢者が地域のなかで生きがいをもって人生をおくることができるまちをめざします。
---------------	-----------------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<p>福祉会館、老人福祉センターでは、健康体操などの介護予防事業や高齢者大学など様々な生きがい推進事業が行われ、地域の高齢者の活動の場としてなくてはならないものとなっている。</p> <p>高齢者人口の増加に伴い、サークル等も多くなり、福祉会館等の活動の場が不足してきている現状があり、平成23年度から、大広間や集会室等の利用希望の多い施設は、利用回数を原則月2回までの使用として、多くの方が利用できるように見直しを行った。</p> <p>今後も、団塊の世代が65歳を超えて、高齢者人口は増加していくことは確実で、福祉会館等における介護予防事業の役割は重要となってくるので、さらにより効果的な魅力ある介護予防プログラムを検証する必要がある。</p> <p>また、受益者負担については、他の事業との整合性及び他市の状況を考慮しながら検証を行う。なお、平成24年度における受益者負担を導入している市は、25市中3市であり、今後も動向を見ながら判断したい。</p>
	事業の必要性	3	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	1	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>事業内容については、公民館事業等の類似の事業との住み分けや介護予防を主眼とした事業の展開を図るなど、市の求める内容を適正に反映させるよう管理していく必要がある。介護保険制度に基づく事業との整合を図りながら、利用者負担のあり方についても講座等の内容に応じた検討を要する。</p> <p>委託費（事業費）に占める人件費割合が突出しており、年度当初に概算払いをし、年度末に精算するという委託費の支払方法にも課題があるため、社会福祉協議会と協議し、改善を図ることが必要である。また、市が賃借しているゲートボール場についても、利用者数や利用頻度等を精査し、そのあり方について見直す必要がある。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	1	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	1	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>高齢者の生きがい対策や介護予防の取組みは、今後高齢者が増加することが見込まれていることから、引き続き効果的な事業の実施は必要である。</p> <p>一方で、二次評価で指摘した公民館等での事業との類似性や介護保険制度による事業との整理については早急に検討し、委託内容の再精査を行うとともに、受益者負担のあり方やゲートボール場についても委託内容の再精査にあわせ検討すべきである。</p>